

第1回柏原市総合計画審議会議事録要旨

日 時	令和元年8月6日(火) 午後3時から午後4時30分まで
場 所	柏原市立男女共同参画センター会議室(柏原市役所別館3階)
出席者	(柏原市総合計画審議会委員) 新子委員、石川委員、阪本豊子委員、阪本幸重委員、重森委員、 芝野委員、新屋委員、田井中委員、高山委員、田中晃代委員、 田中一史委員、玉城委員、辻野委員、鶴田委員、寺田委員、西川委員、 畠山委員、早川委員、文能委員、松井委員、松尾委員、森岡委員、 山口委員、山下委員 <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
欠席者	久米委員、谷口委員、中谷委員 <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
事務局	市川政策推進部長、山口総合政策監、小林政策推進部次長、 山本企画調整課長、中嶋企画調整課課長補佐、松田企画調整課主務 (株)ぎょうせい 山野氏
傍聴者	2名
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 委員紹介・事務局の紹介 4 会長、副委員長の選出について 5 諮問 6 市長あいさつ 7 第5次柏原市総合計画策定方針について 8 各種アンケート調査等の結果報告について 9 第5次柏原市総合計画策定スケジュールについて 10 その他 11 閉会

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>1 開会</p> <p>・資料確認</p>
事務局	<p>2 委嘱状交付</p> <p>市長より委嘱状を交付させていただきます。委嘱期間は令和元年7月1日から令和3年3月31日までとなっています。</p> <p>委嘱状の受領は代表して松尾様にお願ひし、他の委員の委嘱状については、事前にお席に置かせていただいております。</p>
市長	<p>【市長より委嘱状を読み上げ松尾委員に手渡し】</p>
事務局	<p>3 委員紹介・事務局紹介</p> <p>【事務局より委員及び事務局職員を紹介】</p> <p>柏原市総合計画審議会規則第6条第2項の規定により、本審議会が成立していることを報告させていただきます。</p>
事務局	<p>4 会長、副会長の選任について</p> <p>柏原市総合計画審議会規則により、審議会の会長、副会長の選出をお願いいたします。選出については、委員の互選で定めることとなっていますが、選出方法について意見はございませんか。</p>
事務局	<p>(事務局一任の声)</p> <p>事務局一任の声がありました。それでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>(異議なしの声)</p> <p>事務局より、会長に大阪教育大学の高山委員、副会長に関西福祉科学大学の重森委員を推薦させていただきます。</p>
事務局	<p>(異議なしの声)</p> <p>会長には高山委員、副会長には重森委員に就任いただきます。</p>
事務局	<p>【高山会長、重森副会長、席移動】</p>
事務局	<p>高山会長から挨拶をいただきます。</p> <p>【高山会長挨拶】</p>
事務局	<p>5 諮 問</p> <p>それでは、次第に沿って本審議会に対して、市長より諮問を行わせていただきます。</p> <p>【市長より諮問書を読み上げ、会長に諮問書を手渡し】</p>
事務局	<p>6 市長あいさつ</p> <p>引き続き、市長からあいさつさせていただきます。</p>
市長	<p>皆様、改めましてこんにちは。柏原市長の富宅でございます。</p>

<p>事務局</p>	<p>まず初めに、庁舎の建て替えて駐車場、あるいは通行等、御不便をおかけしたかと思えます。まずもってお詫び申し上げます。</p> <p>そして、本日は柏原市総合計画審議会に御出席いただきまして、ありがとうございます。皆様方におかれましては、常日頃から柏原市行政全般に対しまして御理解、御協力を賜り、ありがとうございます。</p> <p>この度は、市議会議員の皆様をはじめ、各御立場での御出席を依頼させていただきましたところ、快くお受けいただきましたことをこの場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>総合計画というのは、皆様御承知おきのとおり、市には様々な計画がございますが、最上位に位置する計画でございます。柏原市の将来像、これを明確にする大切な計画でございます。そういった意味でも今回お集まりいただいたメンバーというのは、それぞれのお立場で知識、経験が豊富な方々にお集まりいただいております。どうか活発な御意見、ぜひ討論等をしていただきますよう、お願い申し上げます。挨拶とかえさせていただきます。どうか、よろしく願いいたします。</p> <p>市長につきましては、ここで退席させていただきます。</p> <p>(市長退席)</p>
<p>事務局 高山会長</p>	<p>ここからは、会長に議事の進行をお願いします。</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、次第に従いまして進めていきたいと思いますが、最初にこの審議会の運営等について事務局から説明を伺いたいと思えます。</p>
<p>事務局 高山会長</p>	<p>本会議の運営につきましては、審議会規則のとおり運営することとなりますが、規則に規定されておりません、本審議会の公開・非公開につきましては公開とするとともに、審議会の議事要旨を作成し、公表させていただきます。また、本審議会開催時には傍聴者の入室を認め、また議事要旨作成及び記録のため録音及び写真撮影を行わせていただきます。</p> <p>今の説明につきまして、質問、御意見等がございましたらよろしく願いします。公開で、また議事等の録音等もするという事でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>高山会長</p>	<p>それでは、今の説明どおりで運営を進めさせていただきます。今審議会では公開とし、事務局の方より傍聴者の方がおられましたら入室をよろしく願いします。</p> <p>(傍聴者入室)</p>
<p>高山会長</p>	<p>次第に従いまして、次の案件に入っていきたいと思えます。</p>
<p>高山会長</p>	<p>7 第5次柏原市総合計画策定方針について</p> <p>それでは、第5次柏原市総合計画策定方針について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局 「第5次柏原市総合計画策定方針について」説明)</p>

高山会長	今の説明と内容につきまして、質疑等がありましたら、よろしくお願ひします。
西川委員	計画策定に関する基本的な考え方の、長期的視野を踏まえた計画づくりというところで、2060年までの将来人口の展望の人口ビジョンについてですが、資料として、過去3年間の人口動態がどのようになっているのでしょうか。私（の所属している大阪中河内農協）は4市、八尾、柏原、松原、東大阪がエリアになるんですが、柏原の人口流出が大きいので、過去3年間の人口動態がどうなっているのかとか、あるいは施策でビジョンをどうお持ちなのか、その辺のことを次回でも結構ですので、今の状況等を簡単に説明いただけたらありがたいと思います。
事務局	今の御質問につきまして、まず人口ビジョンとして、本市は柏原市まち・ひと・しごと総合戦略の中で位置づけた2060年に5万4,381人という人口目標がございます。今後、総合計画を策定するに当たって、次回以降、基本構想、基本計画を御審議いただく中で、現状の人口、人口ビジョンの目標人口もございますが、実際の柏原市の人口の状況の推移も分析をしながら、この審議会で御審議いただくような形を考えております。本日はそれらを数値としては持っておりませんが、次回の会議の時にはそのあたりを踏まえた審議をしていただく予定として考えておりますので、よろしくお願ひします。
高山会長	今の回答でよろしいでしょうか。 そのほか、御意見等ございましたらよろしくお願ひします。それでは、また最後に何かありましたら時間を取りますので、次第に従って、次の議案に入っていきたいと思ひます。
高山会長	8 各種アンケート調査等の結果報告について 次は各種アンケート調査等の結果報告について、事務局から説明をよろしくお願ひします。 (事務局 「第5次柏原市総合計画策定に関するアンケート調査報告書」について説明)
高山会長	それでは、今のアンケート調査報告書につきまして、御意見、質問等ございましたら、よろしくお願ひします。
事務局	このアンケート調査は議事が進む中でも振り返ることはありますか。 基本構想を策定するに当たって、基礎的な資料としてお使いさせていただきませんが、その中でアンケートではこのような結果であったというように参照していくことを考えております。
高山会長	わかりました。いきなり、たくさんの情報が入ったので早いかもしれませんが、もし何かお気づきの点とか、逆に不明な点なんか出していただひて、この場で少しでも理解を深めていけたらと思ひます。いかがでしょうか。
田中晃代委員	10ページのところなんですけども、問6のところ、あなたは柏原市

事務局	<p>を住みやすいと感じておられますかという問いと居住地区とのクロス集計で、堅上について、どちらかといえば住みにくいが多くなっているんですが、この理由は分からないですか。</p>
高山会長	<p>堅上地区は、アンケート回答者数が若干少ないという部分もありますが、堅上地区のどちらかという住みにくいという理由の分析は、すぐに回答できませんので、また後日委員の皆様にご回答させていただきます。</p>
西川委員	<p>そのほか不明な点とかございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>今、柏原市で防犯カメラはどのくらい設置されているんでしょうか。65ページの自由意見の9番目に防犯カメラの設置を推進して欲しいとありまして、他市などで凶悪な犯罪とか、子どもたちがそういったことに巻き込まれることもあって、自動車でもドライブレコーダーとか、気をつけることが常態化してきているので、費用もかかることですが、市民の安全性ということについては必要なことかと思っています。設置がどのぐらいのパーセントかというのが分かれば、次回でも結構ですので、よろしくお願いします。</p>
高山会長	<p>防犯カメラの設置につきましては、今回の審議会が企画調整課担当になっておりますが、他部署の方でカメラの設置は推進して続いているところです。今の内容につきましては、お調べさせていただきますので、次回には御回答させていただきますので、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>よろしいでしょうか。その他はいかがでしょう。</p>
事務局	<p>このアンケート調査の全体像をして、市民の方というのは大まかに世代的、性別的にどのような柏原市をイメージされているというふうに理解されたんでしょうか。もし何かありましたら少し説明願えますでしょうか。</p>
高山会長	<p>大まかになりますけども、若い方と高齢の方に分かれておられまして、若い方は総じて、駅前も含めて少し便利が悪いというか、もう少しにぎやかであって欲しいというイメージがアンケートに出ていると思っております。逆に、御家庭を持たれて、住んでいただいている、子育て世代の方々については、環境も含めて住み良いと一定評価をいただいていると感じます。ただ1点、そのような方々でも生鮮食料品の買い物には御不自由ないと理解しているんですが、その他の日常生活用品を買うところがない、もしくは、柏原市内で土・日に出て行くところがないというような評価が一定あると思っております。</p>
田中一史委員	<p>ありがとうございます。その他はどうでしょうか。また、審議が進む中の関連する場所で、アンケート等気になりましたらその都度議論させていただきたいと思っております。</p>
田中一史委員	<p>まだアンケートですが、例えば調査結果の中で10年前と比べると幹線道路の整備とか渋滞緩和策を進めるというのが9.3ポイント多くなった、10年前と比べてなぜこんなに高くなったのかという分析は今後ということでしょうか。今のところは、市民の方の感じていることを書かれているとは思いますが、実際にどうなっているのかを調べる、例えば、</p>

<p>高山会長</p>	<p>交通量が増えて、渋滞が10年前と比べてどうなっているのかといった実際の10年前と比べたデータというのが大事ですね。何でこのように思われたのかということがないと、対策の打ちようがないので、その辺りが大事なのかと思います。感じていることが、なぜそう感じているのかと、先ほど堅上はなぜ、という話がありましたけど、まさにその感じている背景なり、その原因、それを調べていくのが大事なのかと思いました。</p> <p>何かありますか、よろしいですか。今非常に貴重な御意見をいただきまして、今後計画を策定するのにぜひ、なぜこうなっているのかという根本的な問いかけを繰り返すことは必然ですので、またそういう情報等もよろしく願います。よろしいでしょうか。</p> <p>その他はいかがですか。何かお気づきの点とか、このようなことを考えておられるとか、市民の方に対する質問とかございますか。</p> <p>特に今の段階ではなさそうですので、一旦この議案につきましてはここで止めさせていただきます。また、先ほど委員会の御発言もありましたけども、このアンケートや市民の声というのは振り返らざるを得ないことであり、絶えず振り返っていきたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>それでは、次の次第に進むんですけども、これは資料3の説明でよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局 高山会長</p>	<p>アンケートの報告を2件続けさせていただきます。</p> <p>わかりました。次は、柏原市の市民ワークショップの報告に入りたいと思います。よろしく願います。</p> <p>(事務局「“柏原市の未来”を考える市民ワークショップ実施報告書」について説明)</p>
<p>高山会長</p>	<p>ただいまの市民ワークショップの実施報告につきまして、御意見、御質問等がありましたらよろしく願います。いかがでしょうか。</p>
<p>田中晃代委員</p>	<p>少しお伺いしたいのですが、ワークショップで33名の方が参加されたということなんですが、いろいろな意見が多数出てきて、これを参考にすることをおっしゃっていたのですが、この参考というのはどの程度、総合計画の策定の中で生かされるのか、多分スケジュールとの関係で制約もあると思うのですが、全ての意見を生かすということではできないにしても、これだけの意見を出していただいていますので、市民の方が、あのとき言って良かったなと思えるような、そういうワークショップとなれば一番良く、意見を出したのに何もないというのはちょっと失礼に当たるような気がします。その点について、市民に対してご説明されているのでしょうか。例えば、総計の審議会があつて、報告するということはお存じかもしれませんが、その過程でこのような意見が生かされたかなどの経過を報告するなど、もし、そのような予定があるのならば聞かせていただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらのワークショップの中身は、かなり多彩に渡っておりますので、全てを網羅するのは難しいかと思いますが、策定する中で、各部署で担当</p>

高山会長 阪本豊子委員	<p>がありますので、そちらに今後課題などの部分で、このような意見が出ているということは報告させていただきます。</p> <p>市民への報告については、個別のワークショップの参加者への報告ではなく、ホームページ等で、広くこの審議を進めていく中で活かされた部分について、説明していくことを考えております。</p> <p>今の回答でよろしいでしょうか。</p> <p>今のワークショップの参加者なのでお話ししたいと思うのですが、実際にいろんな意見が出まして、最初に感じたのがこのアンケート調査の中にある部分がたくさん出ています。アンケート調査は、その中から選んでくださいという項目でされているので、市民の意見が半分以上入っているかもしれないですが、行政側の今までからの関連でつくられたアンケート聴取みたいな感じがします。ワークショップを行った理由というのが、そのときは分からなかったんですが、よく考えたら生の声なんです。私はDチームだったんですが、この中で出てくるもので、プレミアの商品券について、今月広報で出ていました。偶然かもしれませんが、おこなってほしいと思っていること、意見を言ったことが出てきているねと感じます。</p>
高山会長 事務局	<p>もう一つ、この中で見てほしいのは、柏原市は山と川があつてすごく不便な土地なので、どこへ行くにも高齢者にとってバスしかないということです。循環バスの回数が本当に少ないので、それをもっと多くしてほしいという意見が、ワークショップではほとんど全部のグループに出ていると思うんです。でも、それがこのアンケートの中には交通が不便であるという項目だけがあつて、循環バスについて、実際に市の施策についてなど、自分たちの生活に直結したものが出ていないので、このワークショップというのは意味があつたと感じております。</p> <p>ありがとうございます。何か今のご意見につきまして、コメント等ありましたら。</p> <p>今のワークショップにご参加いただいたご意見、それから委員のご指摘を踏まえて、それらをこの計画の中で活かしていく必要があつて、その意見を踏まえた結果が見えなければ、良い計画をつくっても、意見の反映がどのようにされたか疑問として残りますので、公表の方法等を検討して、対応していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
高山会長	<p>よろしいですか。僕もこのワークショップに学生が参加していきまして、要するにワークショップというのはフリートークの中で未来を語って、これからどうするか、もっと柏原市を変えていこうという思いが強いので、ぜひともワークショップの意見を現状と未来という形で利用しながら、つなげていけたら良いと思っております。</p>
重森副会長	<p>そのほか何かございましたら。</p> <p>アンケートとワークショップで、柏原市の問題点や期待されているものなどが見えたのかと、個人的には見させていただいたんですが、この柏原</p>

事務局	<p>市が消滅都市の一つとして挙げられているのは御承知のとおりだと思います。恐らく人口の動態を見ていきますと70代、80代の自然減の部分や20代の若者の流出のあたりが非常に顕著なのかと見させていただいています。例えばアンケートとワークショップは、この10年間を考えるための参考にされたと思うのですが、この2020年から30年の10年間は非常に勝負の年だと考えています。超高齢社会、少子化で、この10年間でどのような施策をするかというところが非常に大事だと思っているのですが、この消滅都市に対する危機感に関して、何か見えたものはあるのか、教えていただきたいと思います。</p> <p>抽象的な答えになるのかも分かりませんが、まず人口に関しましては、自治体だけで考えますと、考え方として、外から来ていただくことを語りがちで、まずは止めるといいますか、今住んでおられる方々の評価というのが大事かと思っております。柏原市は、世帯数は変わらないものの、人口が減っていく、主に出生数が少なくなっているのが一つの特徴です。ですので、このあたりをもう少ししっかり分析を進めないといけないというのが第一歩目になると思っております。</p> <p>何か見えたことがあるかということですが、先生も健康面ということで、専門で研究されてると思うのですが、観光や健康、ヘルスツーリズムやサイクルツーリズムなど、いろいろ世間で言われています。この健康施策、観光施策というのは、別々の施策ではなく、つながっているんだという解釈で、全てのストーリーを一つのパッケージにできるような形でまちを売っていくことができないかと考えています。少し抽象的な答えになりましたが以上です。</p>
高山会長 田中一史委員	<p>ありがとうございます。そのほかにはありませんか。</p> <p>少し感じたことです。今の総合計画について勉強し、評価をしていかないといけないと思いました。今の総合計画を知らずに語るのは申しわけないと思いました。もしかしたら全く陳腐化していなくて、そのまま使える内容があるかもしれないと少し思っています。ただ、確実に漏れていることもあるはずで、例えば今の総合計画の策定時期が2011年3月となっていますが、2011年3月といえば東日本大震災がありました。恐らく、市が力を入れて対策を行っていると思うので、そういったところはしっかりと総合計画に打ち込んでいく、そして、それ以外のところについては、余り陳腐化していないようなものもあるかもしれないので、今の総合計画をしっかりと評価する、それがどこかの段階で必要だと思いました。そう思いながら、このワークショップの報告書を見ていたら、例えば第3回ワークショップの7ページ、Aチームの最初に出てくる言葉が、安全で住みやすい、Bチームの最初も、安心子育て、Cチームは、笑顔があふれる中で安心・安全と、それが多分一丁目一番地なのかと思います。感想ですけど、今の総合計画の評価をしつつ、ワークショップの意見、アンケートではない自由な意見を入れ込むのが非常に分かりやすいと思いました。</p>

高山会長	<p>本当にこの10年間をどう総括するかも、とても重要なことで、そこから始めないと地に足のついた活動にはなかなかならないのかなと考えます。また、これまでの状況、アンケートに出てきた市民の皆様の不満や数値の改善など、これらと総合計画との関連性も意識しながら、次の10年間をどう展開するのかという形で会議ができれば良いかと思います。</p> <p>そのほかはいかがでしょうか。</p>
畠山委員	<p>私も意見とか感想的なことになるのかもしれませんが、アンケートとワークショップを比べると、アンケートではなくてワークショップでは実際の具体的な声というのが挙がっています。私たちは、対市要望というものを提出させていただいておりまして、その中でも公共交通機関をもう少し使いやすくしたいなどの意見は出ますので、恐らくほかにもそういった対市要望的なことをされているところもあると思いますので、そのような声もあわせて、この総合計画の方に載せることを御検討いただけたらと思います。</p>
高山会長	<p>ありがとうございます。できるだけ市民参画の総合計画ですから、開かれたチャンネルをたくさん準備していただければ、いろんな形で市民の方の声が集められるようになればいいかと思います。</p> <p>今のご意見2つありましたが、事務局から何かコメントがございますでしょうか。</p>
事務局	<p>第4次総合計画の振り返りにつきましては、この後のスケジュールでご説明させていただく予定でしたが、それぞれの担当部署に対して、第4次総合計画に掲げている各項目についての評価、そして今後の課題についてシート的なもので回答を依頼し、その後、次の計画に向けてどういった部分を改善するのか、ということ、当然行う予定とさせていただいておりました。</p> <p>また、要望等につきましても、様々な団体等からいただいておりますので、その中で取り入れられるものは総合計画についても取り入れていこうと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>
高山会長 西川委員	<p>ありがとうございます。そのほかはいかがでしょうか。</p> <p>いま、大学から（委員として）来てくださっているんですけど、この前の日曜日にNHKだったと思いますが、大阪教育大学の生徒が柏原や羽曳野の現場に出て、農家さんの案内や、商工業者の方々の案内をするなど、若い学生の方々の案内によって、地域のいろんな状態を紹介するなどしていました。そんなことも含めて、私も機構改革の中でいろいろな情報発信とか、メディアを通じて、あるいは紙面を通じて、そのようなところに力点を置いているとか、複合的に強化しているというところがあるので、柏原市もこれからの情報発信というのが非常に大事になってくると思います。また、大学と上手く連携しながら、柏原のまちはこんなところなんだよというところを発信していけば良いのではないかと思います。今の情報発信の担当メンバーがどの程度おられて、どんな発信の仕</p>

<p>高山会長 重森副会長</p>	<p>方をされているのか、今後そのようなところを私や組織も含めて、協力したらどうかと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>本当に非常に重要なご意見だと思っております。私どもの玉手山学園でも、今4年目になるんですが、大学、短大、高校、特にこの3つが、柏原市のために何かできるのかを教員と学生・生徒が力を合わせてプロジェクトを一つの所属に対して20ぐらい挙がっておりまして、それを今柏原市のためにやっている最中でありまして。本当におっしゃるとおり、我々も研究などが、しっかりと地域の方々に還元できないといけないと思っておりますし、学生も地域の中で成長できたら良いと、それが一つのブランディングにもなっていけばいいと感じており、今後の10年間、先ほどお話しさせていただいた部分も踏まえて、活性化させる一つのプロジェクトになれば良いと考えて動いております。</p>
<p>高山会長</p>	<p>ありがとうございます。大阪教育大学もできるだけ、柏原市と何かできればということいろいろと模索をさせていただいております。これからもよろしくお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのほか、何か情報発信や、地域の様々な団体等との関係について何かコメントとか、事務局の方からございますか。</p> <p>情報発信の件ですが、柏原市も現状はSNSを活用しています。情報拡散力がすごくありますので、今まではwebサイト、ホームページを一定更新すれば良いという部分がありましたが、今はフェイスブックやインスタグラムも開設しています。課は異なりますが、秘書広報課の広報担当に広報専任のものがいて、ウェブの知識を持った者もおりますので、これから少しずつ情報発信能力、情報発信の手段や方法、タイミングというものも進歩させていこうと進めている状態です。</p>
<p>高山会長 田中晃代委員</p>	<p>ありがとうございます。そのほかいかがですか。</p> <p>柏原市特有の課題ではないですけども、少子高齢化に及んで、今ある資源はたくさんあると思います。例えば、学校の跡地、空き地とか空き家、それから耕作放棄地などもあるかもしれませんが、そのような、今ある資源で有効に使われていない資源を使っていく、という発想が必要かと思ひます。それらを有効活用するためには、それぞれの所有している団体、あるいは組織同士がネットワークをうまく組むとか、つながりを作っていくことが必要になってくると思ひます。市民同士でもたくさんの活動団体が柏原市にあると思ひますし、その市民と行政の関係もこれからもう少しつながっていけないといけないし、行政の内部でもそれぞれの所管同士がつながっていくということが必要になってくると思ひます。それがあってこそその有効利用だと思ひますので、そのような部分を少し伸ばして、少子高齢化という現象の中で、空き地利用とか空き家対策がどの自治体でも出てきて、お金がない中でどうやってその跡地を活用していくのかという問題を、少し知恵を出し合いながら、一緒になって考えをまとめていけたら良</p>

高山会長	<p>いのではないかと考えています。</p> <p>ありがとうございます。今後の進め方の参考になる意見をたくさんいただきましたので、ぜひ会議の上にも反映させながら進めていきたいと思えます。</p> <p>そのほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか、それでは、これで今のワークショップに関する報告についての議論を止めさせていただきます。</p>
高山会長	<p>9 第5次柏原市総合計画策定スケジュールについて</p> <p>続きまして、9番目の第5次柏原市総合計画策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
高山会長	<p>(事務局 「第5次柏原市総合計画策定スケジュール」について説明)</p> <p>ありがとうございます。今の策定スケジュールにつきまして、質問、御意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。いかがでしょうか。</p> <p>この審議会と審議会の間実施されます団体ヒアリングなどの右側の項目について、委員さんに報告をお返りするなどされるのでしょうか、それとも次の審議会まで出てこないのでしょうか、教えていただけますか。</p>
事務局	<p>委員の皆様には今回のワークショップなどの報告書と同じような形で、事前資料としてお送りさせていただく方向で考えております。</p>
高山会長 西川委員	<p>ありがとうございます。かなり長丁場ですけど、いかがでしょう。</p> <p>要望ですが、1月に主な策定スケジュールは入っていないんですけど、もし審議会を開かれるのであれば、各委員の自費でサンヒル柏原での懇親会、新年会等を催すのはいかがでしょうか。あくまで自費で、市役所のお金は使わずに、この審議会は重要なメンバーばかりですので、もし計画をなされて、可能であればということで要望しておきます。なければ結構です。</p>
高山会長	<p>ありがとうございます。ざっくばらんに意見を言える、お互いに腹を割って話せる機会が増えればいいと思います。ぜひ御検討いただければと思います。</p> <p>そのほかはいかがでしょうか。このスケジュールではほぼ2年間審議会を実施していきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、今日の議題は全て終わりましたが、何か全体を通じて改めて質問や御意見、あるいは進め方のご要望などございますでしょうか。</p> <p>また、次回以降の審議会がありますので、その折に聞かせていただければと思います。本日はアンケートなどベースとなる重要な資料がございましたので、後日改めて目を通していただけて、様々なことを考えていただければと思います。</p> <p>それでは事務局にお返しします。</p>

事務局	<p>10 その他</p> <p>本日は長時間にわたる御審議ありがとうございました。先ほども策定スケジュールでお話させていただきましたとおり、次回は11月頃に基本構想案の審議を予定させていただいておりますので、御出席をよろしく願います。</p> <p>それでは第1回柏原市総合計画審議会はこれで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>11 閉会</p>
-----	---